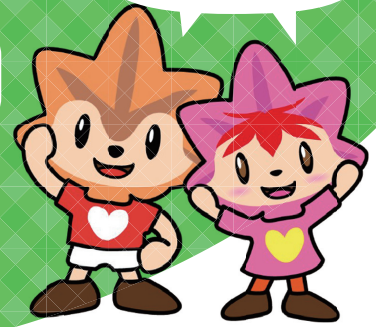




\\ 運命の分かれ道に立っています! //

早期治療開始のために 必ず受診「要治療」

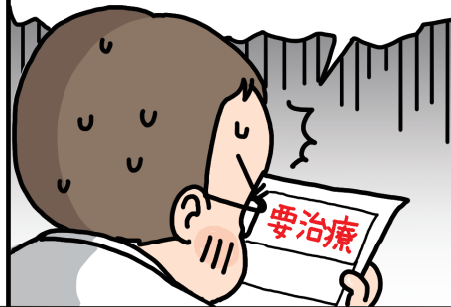


協会けんぽ広島支部マスコットキャラクター
健康いろは&健康かえで

健診受診の後日
の山本さん
(働き盛りの会社員)



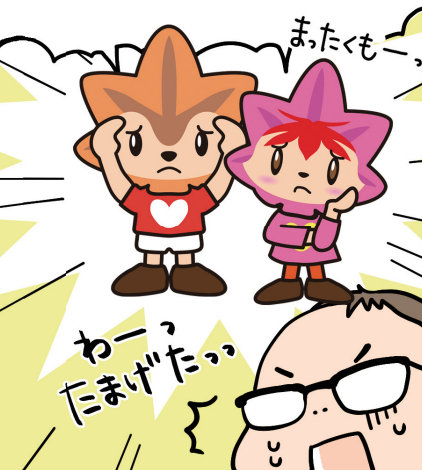
おっ、えっ、えええええ～
要治療って何? 嘘じゃろ



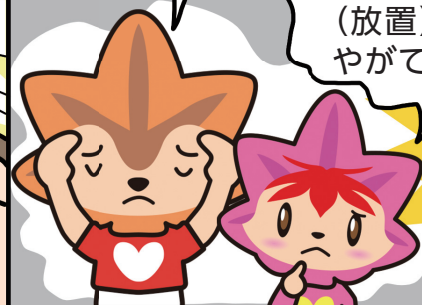
よし、誰も見とらんけえ、
(ついでに) わしも見んわ



見てますよっ!



要治療っていうのは、
病気が疑われる、
または、病気が
明らかということ



つまり、
見て見ないふり
(放置) をすると
やがて……

こーなる!!



そがいいに怖いこと
言うちゃいけないで〜っ

まさに今が運命の分かれ道!!



おかげで早めに
治療開始できたで



全国健康保険協会 広島支部
協会けんぽ

危険

要治療・要精密検査は ただちに受診を!

健診では数値の異常を調べることはできますが、病気の特定や薬の処方できません。医療機関への受診により現在の身体の状態を診てもらい、治療の必要性や方法について相談しましょう。

1 受診する医療機関を決める

かかりつけ医はいますか?

いる

かかりつけ
医に相談

いない

厚生労働省の「医療
情報ネット」で調べる

医療情報ネット 検索



2 受診する

受診する際の
持ち物

- ☐ 健診結果
- ☐ 健康保険証



ふむふむ

思っているより怖い生活習慣病の重症化

治療をせずに放置すると様々な病気のリスクが高まっていきます。今の行動が将来に大きく影響します。

高血糖

高血圧

脂質異常

動脈硬化

糖尿病
脳卒中
心臓病

起こりうる合併症

- 網膜症 (失明の恐れ)
- 腎不全 (透析治療)
- 神経障害 (壊疽による足の切断)
- 高次脳機能障害 (失語、記憶障害等)



体験談

1

「痛くも痒くもない」けど 病気は進行しています

生活習慣病は、初期は自覚症状がないことがほとんどです。自覚症状が出た時にはすでに病気が進行しており、生活が大きく制限されてしまう恐れがあります。

40歳で自覚症状が出て、4年後には透析を開始した。糖尿病は痛くない。早くにちゃんと治療していれば…。健診で高血糖を指摘された頃に戻りたい。知らないということは怖い。少しの収入でもいいから働きたい。



50代・Aさん

42歳まで受診せず。42歳から糖尿病の治療開始するが44歳で人工透析を開始する。

体験談

2

後悔先に立たず 早期の治療が大切です

治療の開始が遅くなると、その後の治療が難しくなったり、長期にわたったりするケースが多くなります。早期に受診することで、重症化を予防することにつながります。

その日は突然きました。朝、起きたらめまいに襲われて倒れてしまい、入院しました。退院後もリハビリを続けましたが、現在も麻痺が残っています。あの時、健診結果で指摘されたことを医療機関に相談しておけばと思うと後悔しかありません。



50代・Bさん

血圧とLDLコレステロール値が高かったが、自覚症状がないため放置。脳卒中で倒れる。

お問い合わせ



全国健康保険協会 広島支部 保健グループ
協会けんぽ

[住所] 〒732-8512 広島市東区光町1-10-19
日本生命広島光町ビル2F
[TEL] 082-568-1032